

わたしたちの予算が「まちづくり」のためにどのように使われたかを報告します。



令和5年度

# わたしたちのまち「越前町」の決算報告

(単位:千円)

区分	歳入決算額		歳出決算額		歳入歳出 差引残額 (A) - (B)
	(A)	対前年度比 (%)	(B)	対前年度比 (%)	
一般会計	14,934,262	0.5	14,301,127	0.5	633,135
特別会計					
国民健康保険事業	2,323,336	▲3.6	2,252,372	▲5.1	70,964
介護保険事業	2,408,614	▲1.6	2,275,840	▲3.1	132,774
後期高齢者医療事業	327,685	6.3	325,436	6.3	2,249
簡易水道事業	404,052	▲0.6	364,862	▲9.1	39,190
公共下水道事業	516,600	▲16.0	511,735	▲15.9	4,865
集落排水事業	243,296	▲6.7	220,825	▲14.2	22,471
温泉事業	43,351	64.8	43,320	85.4	31
農林漁業体験実習館事業	25,170	11.2	25,170	11.2	0
土地区画整理事業	0	▲100.0	0	▲100.0	0
企業会計					
上水道事業					
収益的収支	240,216	0.1	213,539	▲2.7	26,677
資本的収支	95,343	▲2.6	151,665	▲5.1	▲56,322
国民健康保険病院事業					
収益的収支	156,765	▲23.8	153,563	▲24.7	3,202
資本的収支	102,344	185.7	193,886	63.6	▲91,542
合計	21,821,034	▲0.5	21,033,340	▲1.1	787,694

※決算額の千円未満を四捨五入しています。

## ■一般会計の決算状況

令和5年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた歳入総額は218億2,103万4千円で、前年度より1億1,762万3千円の減、歳出総額は210億3,334万円で、前年度より2億4,118万5千円の減となりました。また、歳入総額から歳出総額を差し引いた収支は、7億8,769万4千円の黒字となりました。

そのうち、教育や福祉、土木など一般的な行政運営をまかなう一般会計では、歳入が149億3,426万2千円で、前年度より7,696万3千円の増(0.5%増)、歳出が143億1,127万7千円で、前年度より7,524万5千円の増(0.5%増)となりました。

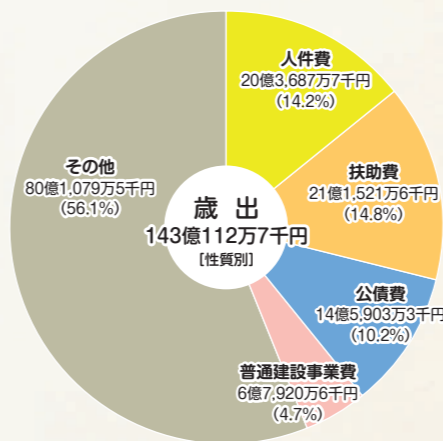
## ■一般会計・歳入決算の状況

一般会計の歳入総額は、前年度と比べて7,696万3千円増加しました。増加した主な要因として、普通交付税が公債費などに係る基準財政需要額の増により1億8,255万8千円増加(2.2%増)したことや、ふるさと再生寄附金が1億9,833万5千円増加(22.6%増)、同寄附金を積立てた基金からの繰入金金が9億1,898万2千円増加(200.6%増)などがあげられます。

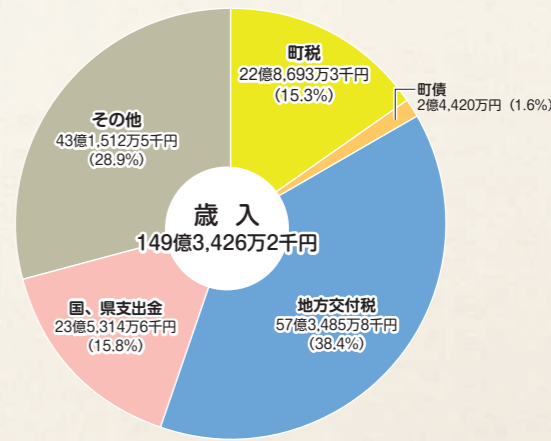
## ■一般会計・歳出決算の状況

一般会計の歳出総額は、前年度と比べて7,524万5千円増加しました。増加した主な要因として、積立金がふるさと再生寄附金の増に伴う同寄附金の基金への積立や財政調整基金の積立の増に伴い4億7,034万8千円増加(38%増)、補助費なども企業会計や一部事務組合への負担金が増となったことなどから1億7,129万円増加(7.5%増)しました。

一方、普通建設事業費は道路改良などを行う社会資本整備総合交付金事業の減などにより4億3,349万5千円減少(37.9%減)するなど、減となった項目も見られます。



(%:構成比)



## 快適で安全に住めるまちづくり

### ●憩いの場の整備

地域コミュニティの活動拠点や商業施設など、多機能に活用できる複合型施設として建設する地域交流施設の実施設計を行いました。



▲地域交流施設イメージ

1,804万円

## 誰もが健康で暮らしやすさを実感できるまちづくり

### ●子育て支援の充実

医療機関や助産所での母体、乳児の健康管理や育児相談のほか、乳児期の子育て世帯に対し、紙おむつや粉ミルクなどの購入費用を助成することで、安心して子どもを産み育てることのできる環境を整えました。

510万5千円

## 人が輝き豊かな心が満ちあふれるまちづくり

### ●学校教育環境の充実

生活支援員や学習支援員、学校運営支援員など各種支援員を小・中学校に配置し、支援を必要とする児童・生徒の学校生活活動の向上や教職員の負担軽減を図りました。

9,452万7千円

## 人と仕事の活力みなぎるまちづくり

### ●農山漁村の活性化

令和4年に発生した急激の影響により被害を受けた漁網・漁具などの復旧を支援し、漁業経営の安定化を図りました。(令和4年度1,600万円、令和5年度8,829万1千円)

8,829万1千円

## ふるさとの個性を活かし交流を育むまちづくり

### ●観光産業の活性化

北陸新幹線福井開業に向け、令和5年11月に福井県をメイン会場に実施された北陸デスティネーション(北陸DC)プレキャンペーンの「全国宣伝販売促進会議」に参加し、本町の魅力を広くPRしました。

118万5千円

## 持続可能な健全行政のまちづくり

### ●財政の健全運営

ふるさと納税制度による本町への寄附を募り、寄附者への返礼品に地元産品を贈呈することで地域消費喚起、越前町のPRなど地域振興に繋げ、また、企業版ふるさと納税を通じて寄附の募集活動を行い、企業の社会貢献に寄与するとともに自主財源の確保に努めました。

5億6,614万2千円  
(寄附金額 10億7,781万円)

## 物価等高騰対策に係る主な事業

### ●住民への支援

物価高騰を受け、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯などに対して給付金を支給し、生活暮らしの支援を図りました。

1億5,363万円

## ●子育て世帯への支援

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、住民税均等割が非課税の人に給付金を支給しました。

620万円

## ●事業所への支援

物価高騰の影響を受ける町内の障害福祉サービス・介護サービス等を提供する施設・事業所の経済的負担を軽減し、質の高いサービスを安定的に継続して提供できるように物価高騰対策支援金を支給しました。

3,133万7千円

## ●農業への支援

物価高騰の影響により農作物の生産費が高止まりしているため、町内に住所を有する農家に対し、土地利用型作物の生産費用の上昇分を一部支援し、経営の安定化を図りました。

912万5千円

## ●町内小店舗への支援

エネルギー価格・物価高騰により、売り上げが減少した町内店舗を支援することを目的に電子クーポン券を発行し、町内における消費喚起を図りました。

2,721万6千円